

地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路

安曇野市新設区間（安曇野道路） 計画説明会

令和4年8月

長野県安曇野建設事務所

安曇野市役所

<説明会の内容>

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 説明事項

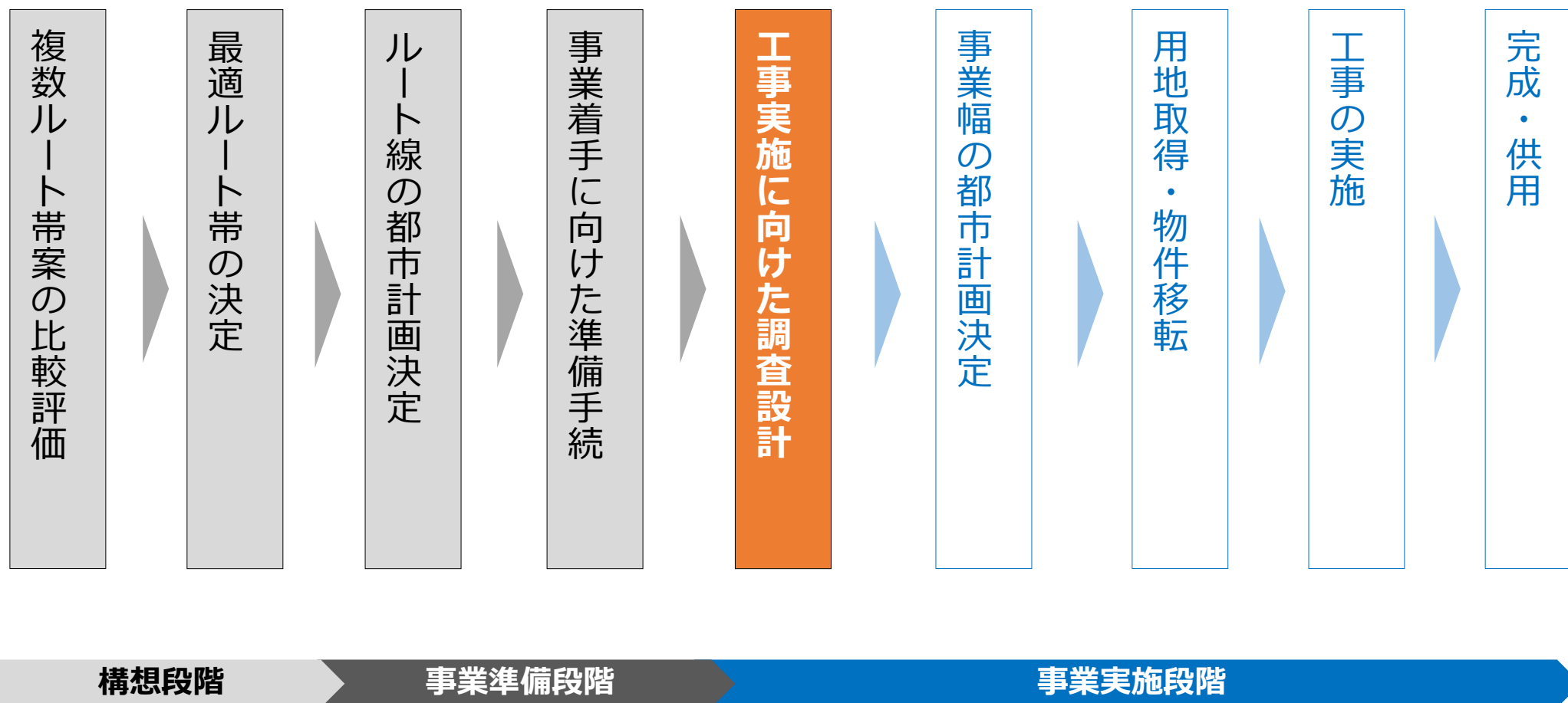
[松本糸魚川連絡道路、アクセス道路]

- (1) 道路計画の概要、現在の進捗状況
- (2) 今後の予定について

- 4 意見交換
- 5 閉会

本日の説明内容

松本系魚川連絡道路 安曇野市新設区間[安曇野道路]が、**事業実施段階**に入りました。
今後、工事に向けた調査設計を進め、事業幅の確定、用地取得、工事着手と進みます。
本日は、調査設計の進め方、今年度の予定を中心にご説明します。



R2.8

R4.4

松本糸魚川連絡道路（松糸道路）の概要

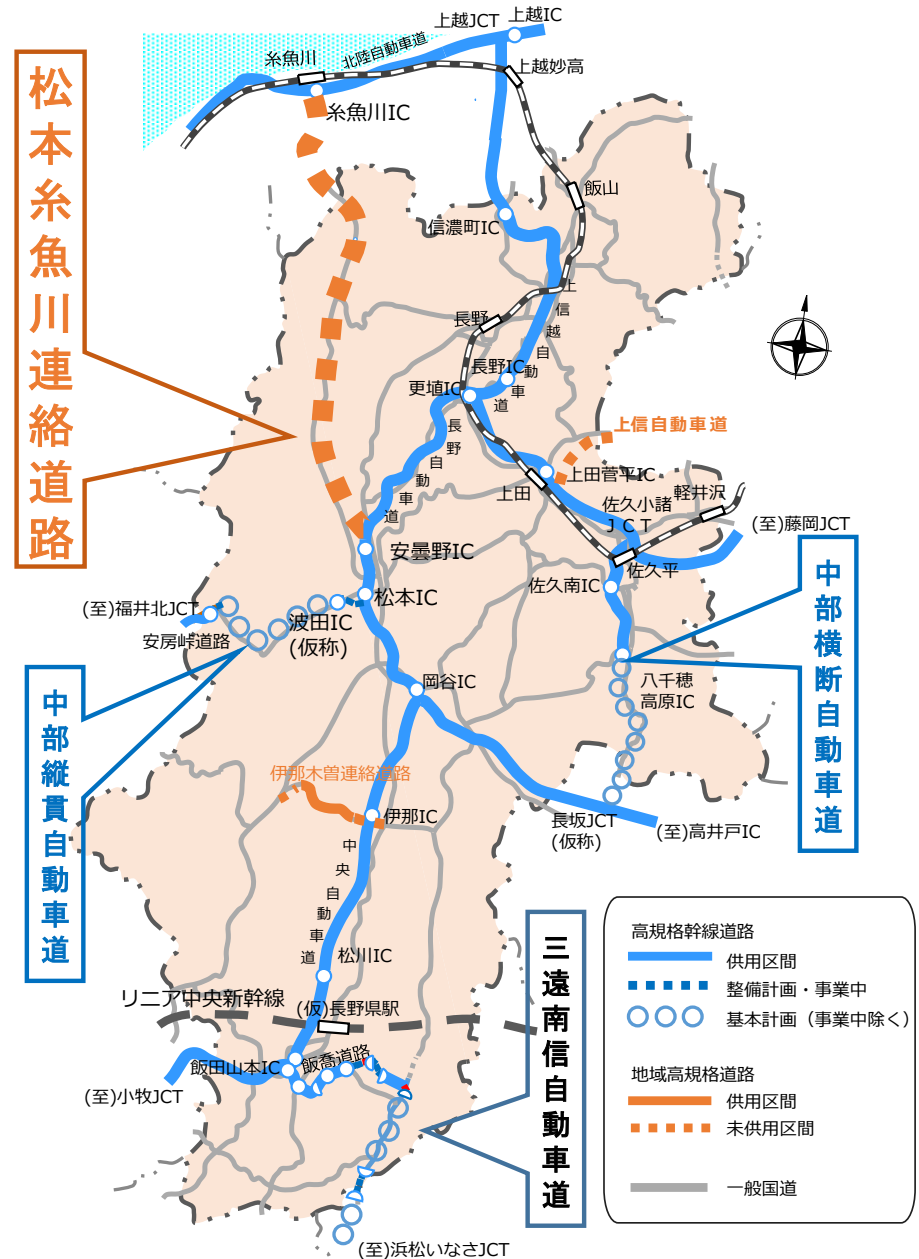
松本市～新潟県糸魚川市間（全長約100km）の地域高規格道路です。
 地域間の往来を便利にすることで、両地域及び沿線市町村における産業発展、生活基盤の強化を目指し、規格の高い道路を整備します。

地域高規格道路とは

- 高速道路のネットワークを補完する役割
- 自動車の通行機能として、
 路線全体で所要のサービス速度を確保できる
 構造の道路

期待される主な効果

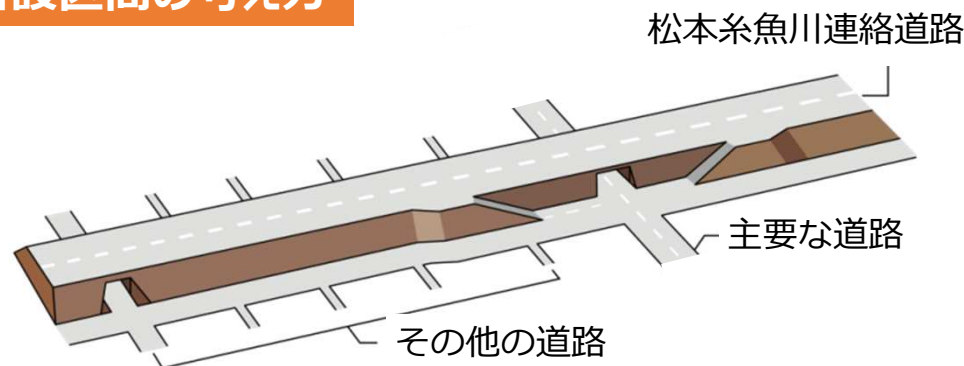
- 高速道路へのアクセス性の向上
- 安曇野IC周辺の渋滞の緩和
- 医療環境の充実・連携強化の基盤
- 災害への備えを強化
 （広域的な連携、代替路確保）
- 地域の産業や観光の発展



松糸道路の整備手法

新設区間、バイパスや現道活用区間を組み合わせ、松本～糸魚川間全体で、信号停止や渋滞を含め平均的に概ね60km/hで移動できるようにします。

新設区間の考え方

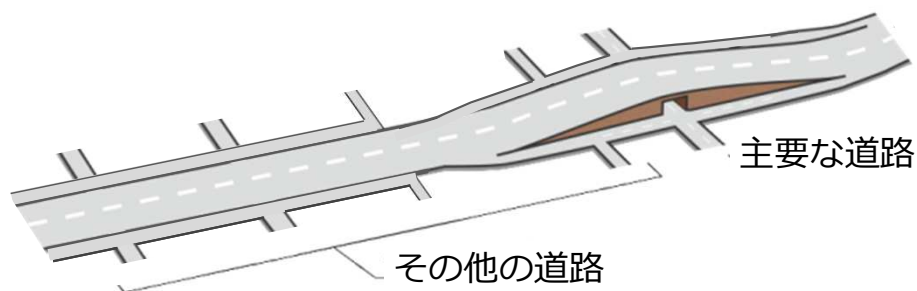


- 基本的に立体交差



全体で概ね60km/hで移動できるよう、組み合わせで整備

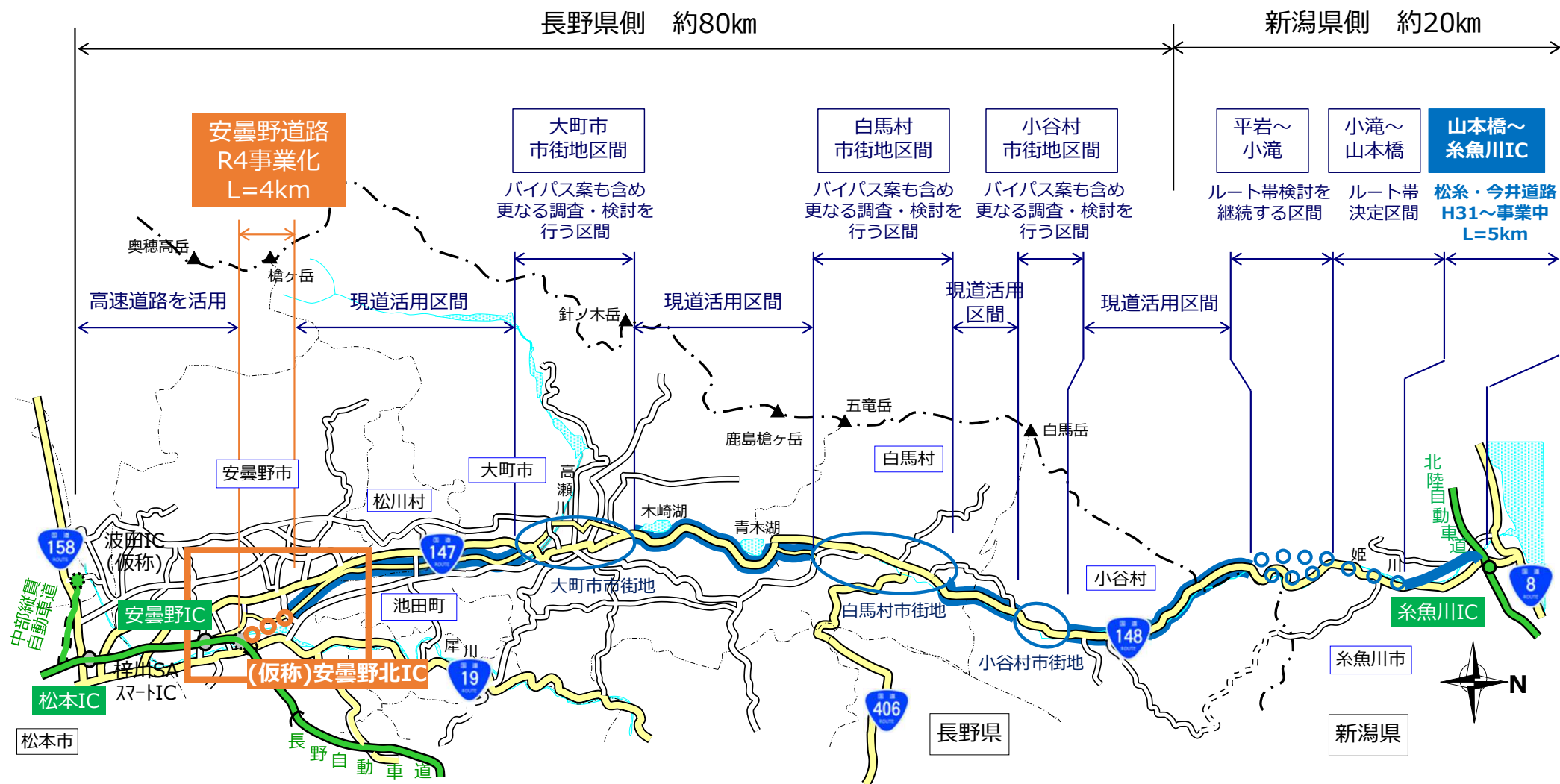
現道活用区間の考え方



- そのまま、もしくは一部改良
(追越車線の設置や主要交差点の立体化)
- 沿道からのアクセスは、サービス速度を確保できるように集約

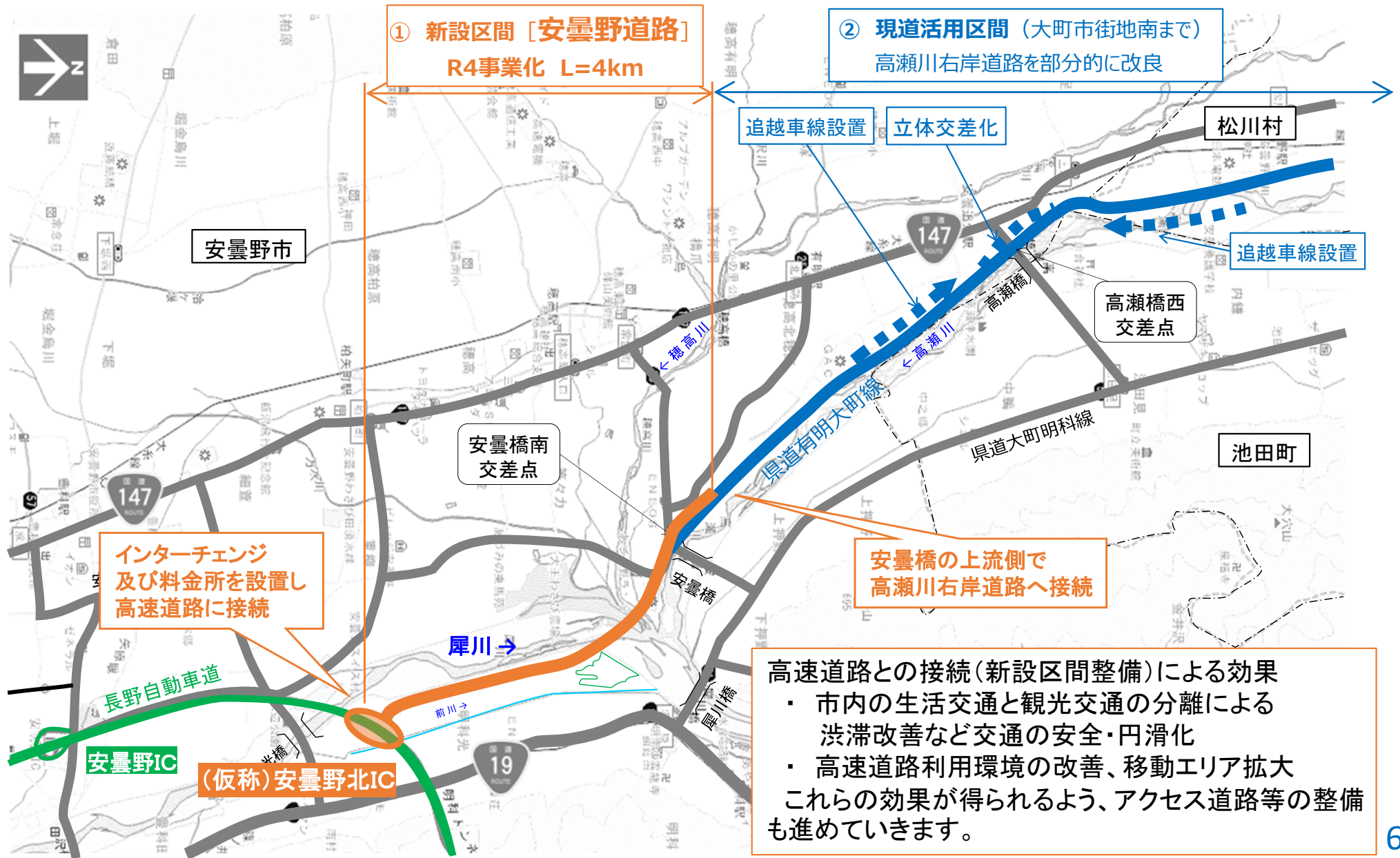
松糸道路の整備状況

それぞれの区間で計画の検討が進められており、一部区間では工事を実施しています。
安曇野市新設区間[安曇野道路]は、今年度、**工事に向けた調査設計に着手しました。**



安曇野市内における松糸道路の計画

整備効果を早期に発揮させるため、高速道路につながる部分の整備を優先し、
「①新設区間(安曇野道路)」を事業化し、重点的に整備を進めていきます。
「②現道活用区間」についても、今後、地域と意見交換しながら検討を進めていきます。



新設区間【安曇野道路】

計画路線の概要（ルート）

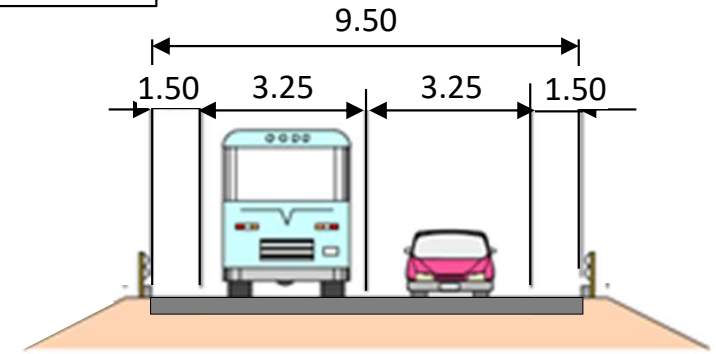
長野自動車道と高瀬川右岸道路を結ぶ新しい道路を整備します。
犀川右岸および高瀬川右岸の地区に出入口（既存路線へ接続、立体交差形式を基本）を設置し、高速道路へのアクセス性を向上させるとともに、市街地内の通過交通を新しい道路へ転換させます。
地域分断、農地買収等の影響を少なくするため、ルートは、犀川及び高瀬川にできるだけ寄せるよう計画しています。



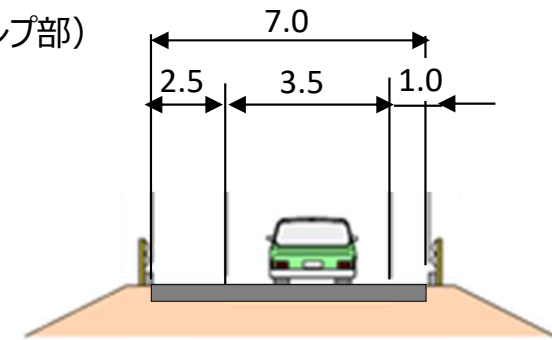
計画路線の概要（設計条件）

項目	内容
区間	安曇野市豊科光（長野自動車道と接続） ～ 安曇野市穂高北穂高（県道有明大町線と接続）
延長	約 4.0km
設計速度	60km/h
車線数	2車線
幅員	9.5m (路肩1.5m+車線3.25×2+路肩1.5m)
構造	盛土構造、高架・橋梁構造
接続及び 交差する 道路	中央自動車道長野線 [長野自動車道] 市道 豊科4038号線 市道 明科4036号線（国道19号アクセス） 市道 穂高1級20号線（長野道方面出入口） 県道有明大町線[高瀬川右岸道路]（大町方面出入口）

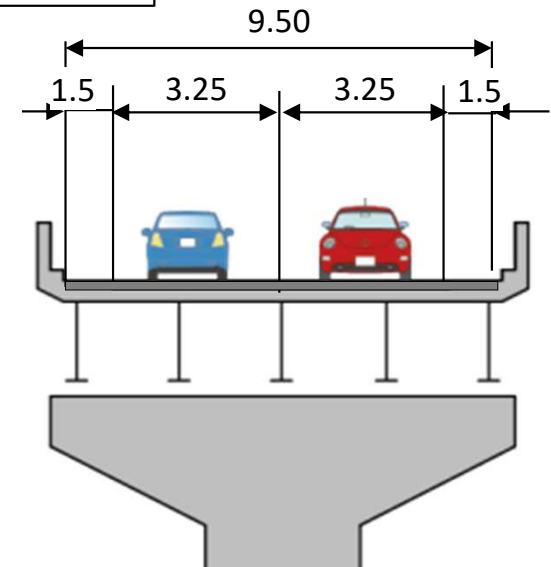
盛土区間



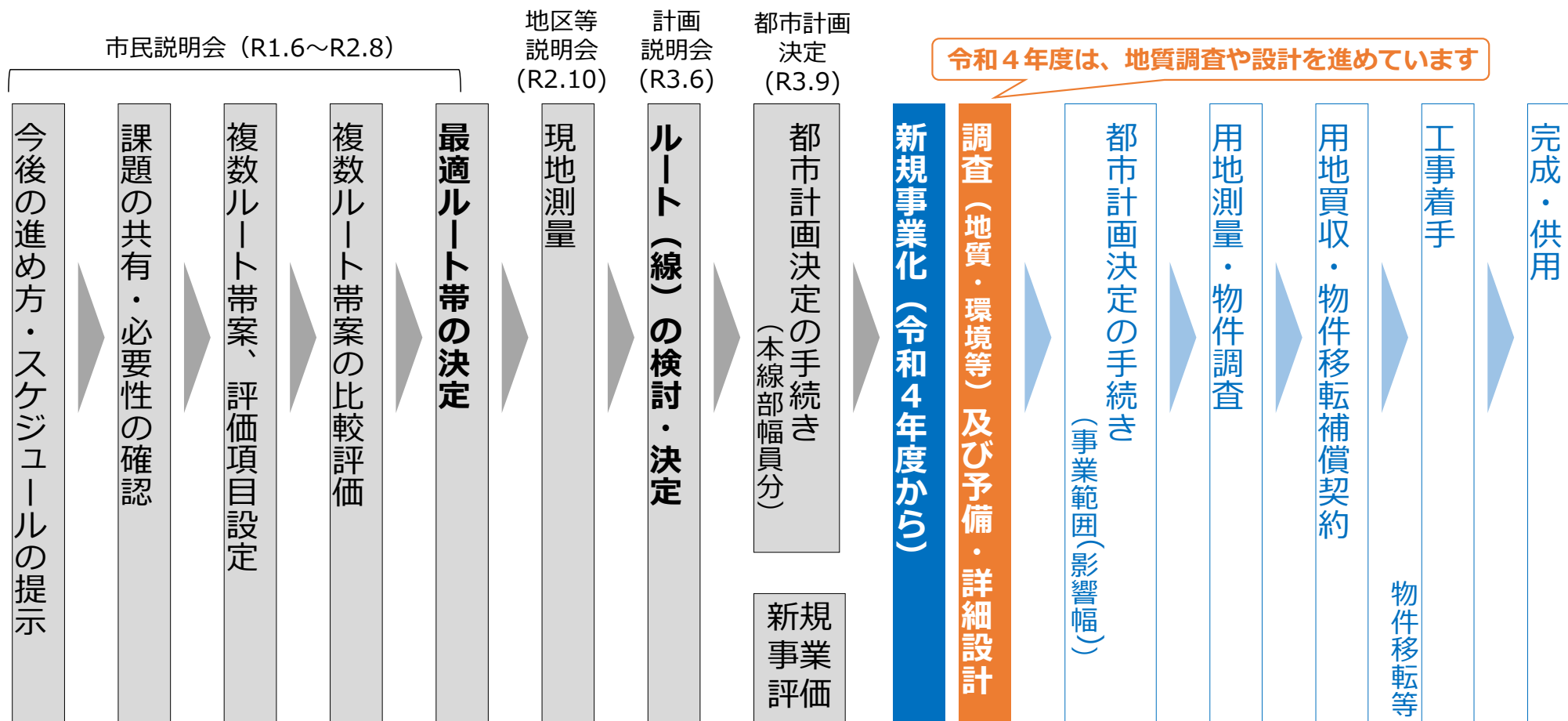
(ランプ部)



高架・橋梁区間



安曇野道路 事業の流れ



構想段階

事業準備段階

事業実施段階



市民説明会の様子(R2)



計画説明会の様子(R3)



測量作業の様子(R3)

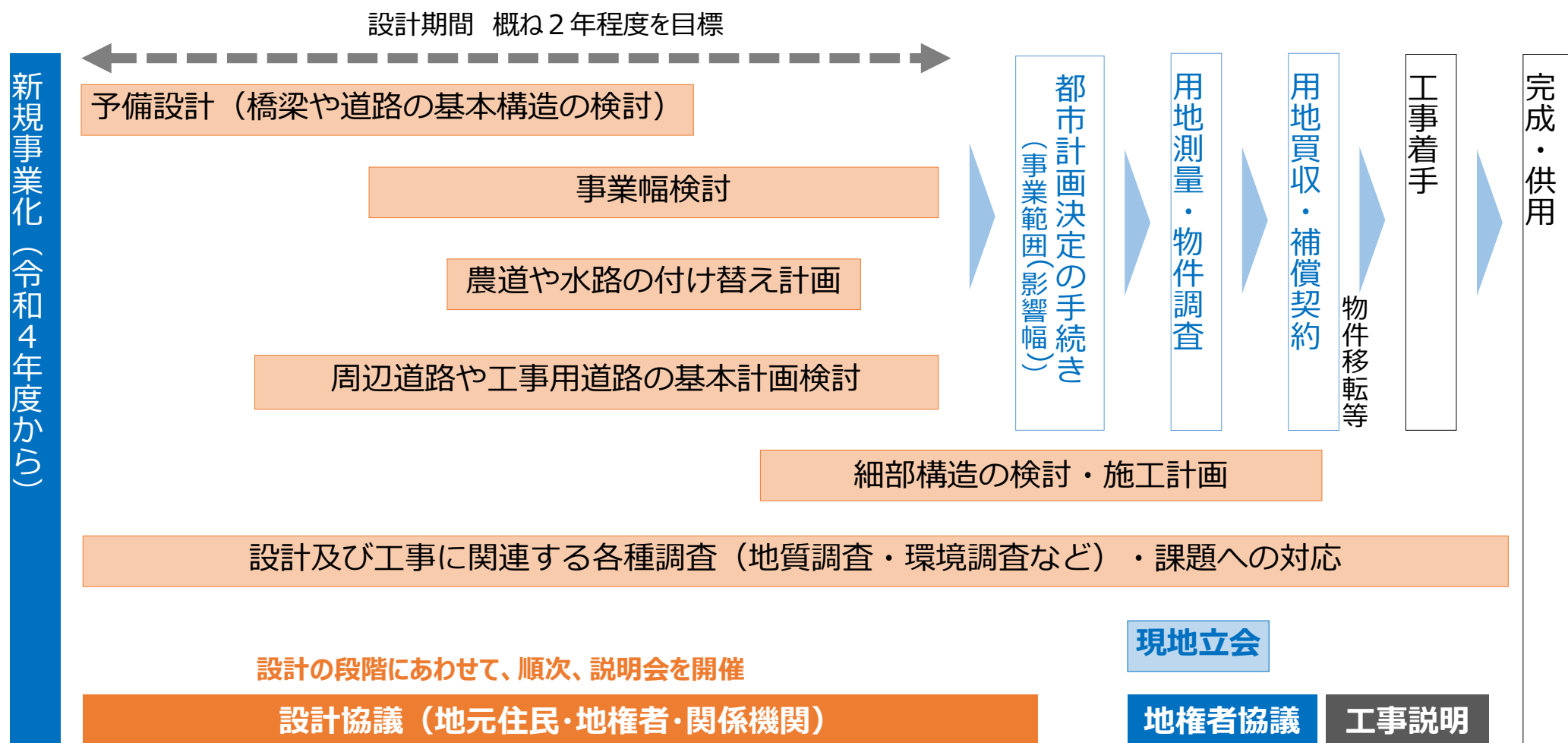


地質調査の様子(R4)

今後の取組について

現在は概略設計段階です。今後、現地の地形や地質の状況を踏まえて**設計の精度を上げていきます**。設計作業の進捗に応じ、計画案ができましたら説明会を開催します。

道路として必要な土地の範囲(事業範囲:影響幅)について、あらためて都市計画決定(変更)を行ったうえで、用地買収及び補償の手続きを進めていく予定です。



都市計画決定について

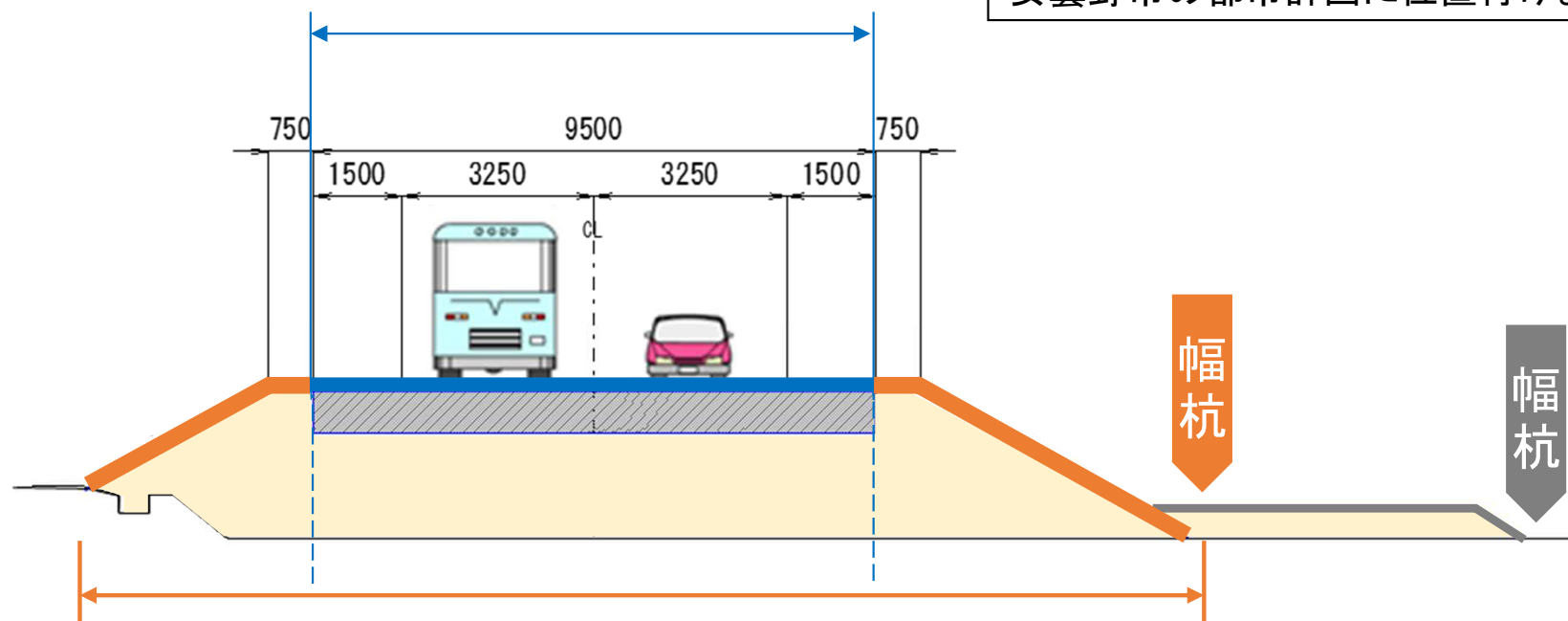
安曇野道路は、安曇野市の将来のまちづくりに向け、「広域化した市域の連携強化」「災害時の代替路確保」「観光地へのアクセス向上」といった役割を果たすものです。

その役割を確実に果たすためには、計画的な整備が不可欠となりますので、安曇野道路を、安曇野市の基幹となる重要な都市施設として都市計画に定めていきます。

R3. 9都市計画決定

9.5m

道路の計画ルートを
安曇野市の都市計画に位置付けました。



事業範囲(影響幅) ※道路の構造により異なる

今後、擁壁や盛土など道路の構造について設計の精度を高め、盛土法面なども含む、道路として実際に必要となる範囲(影響幅)について、あらためて都市計画決定(変更)の手続きをとります。

今後の事業の流れに関して

工事着手時期・完成予定時期について

- 今年度より工事着手に向けた調査設計に着手し、道路事業として必要な土地の範囲を都市計画決定した後、用地買収に入る予定です。**ある程度用地が確保できた段階で工事に着手します。**
- **工事着手まで数年、完成まで10数年**かかると見込んでいます。早期に効果が出るよう工夫して進めます。地域の意見をお聞きしながら、工事の順番、施工計画について検討していきます。

計画地の土地所有者の皆様へ

- 現在は概略設計段階であり、今後の設計の結果、**現在お示している計画案から変更が生じる場合があります。**道路事業幅は、今後、設計の精度を高めていった段階でお示します。買収面積の確定は、用地測量を実施し、現地にて境界等を確認していただいた後となります。
- 工事を実施する際、借地へのご協力をお願いする場合があります。設計内容が決まり施工計画を検討する中で、該当する皆様へご相談をさせていただきます。
- **土地を貸している方は、土地利用者への情報提供を行っていただきますようお願いいたします。**

事業を進めていく上での主な課題・対応方針

環境への配慮について

- 河川内の動植物の生息環境、白鳥飛来地、安曇野を代表とする景観など、**地域特有の環境、生活環境および農業等産業基盤などへ配慮**しながら進めていきます。
- 事業実施による影響を把握し、必要な対策・対応をとれるようにするため、**事前調査や予測、工事実施前から道路完成後にかけての調査・観測**の実施について計画します。
- 景観については、地域の皆さんに完成イメージを見て頂く等しながら設計を進めていきます。

周辺道路の整備について

- 地域の交通状況、松糸道路整備後の交通量変化、工事実施時における生活道路の安全確保、農作業への配慮の観点から、安全対策や渋滞対策等など**改良の必要な現道について、整備手法やスケジュールを検討**していきます。
- 現在改良を進めている箇所については、早期完成を目指して取り組んでいきます。

今年度の予定について

安曇野道路 L=4 km



区間	これまでの取組	今年度の予定
① (仮称)安曇野北IC (光)		新設インターチェンジの設計、測量、地質調査
② 犀川右岸 (光～中川手)	道路概略設計 地形測量	道路、高架橋の予備設計、測量、地質調査
③ 三川合流部 (橋梁)	地質調査 環境調査(文献調査)	橋梁予備設計、測量、地質調査
④ 高瀬川右岸 (狐島)		道路、高架橋の予備設計、測量、地質調査

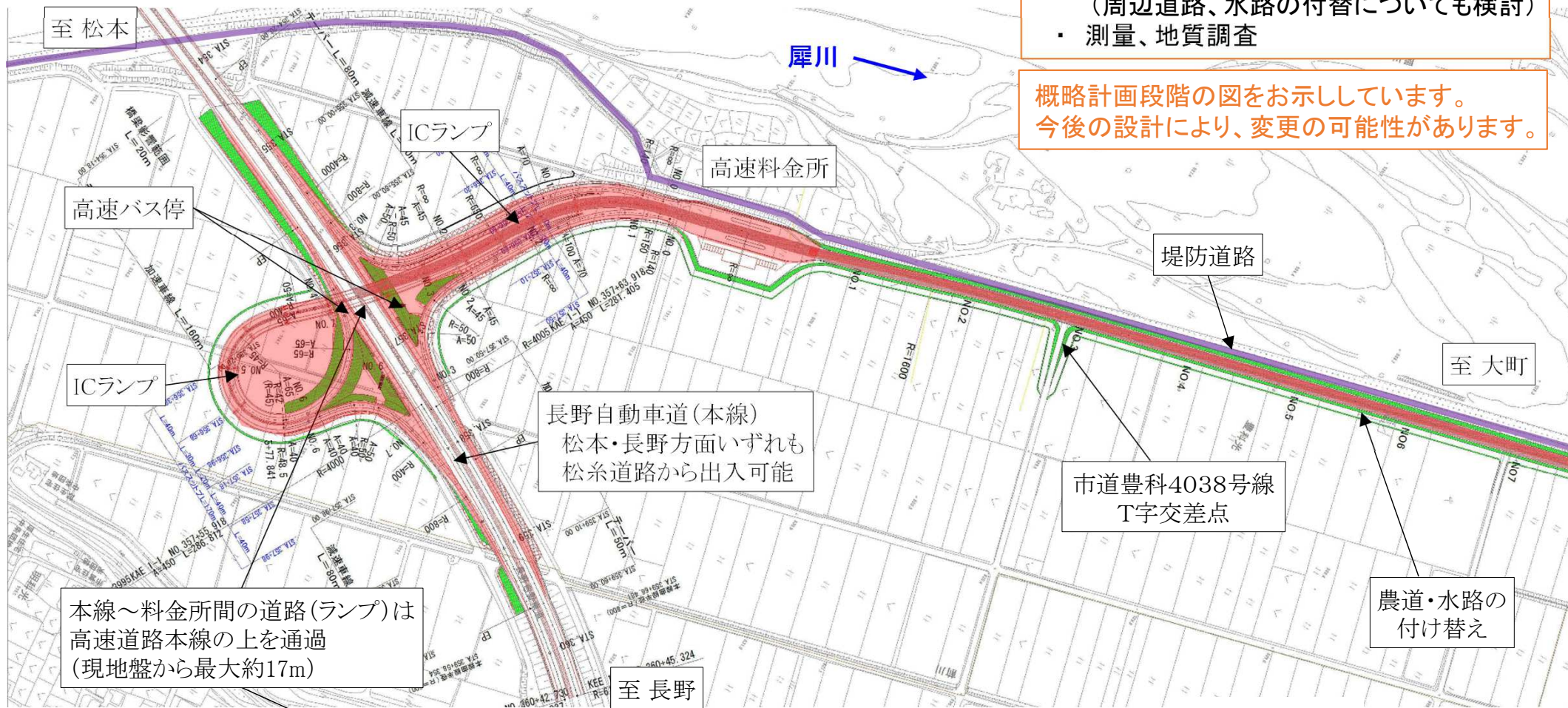
概略計画図

① 安曇野北IC（仮称）付近

【今年度の予定】

- ・ 新設インターチェンジの設計
（周辺道路、水路の付替についても検討）
- ・ 測量、地質調査

概略計画段階の図をお示しています。
今後の設計により、変更の可能性があります。



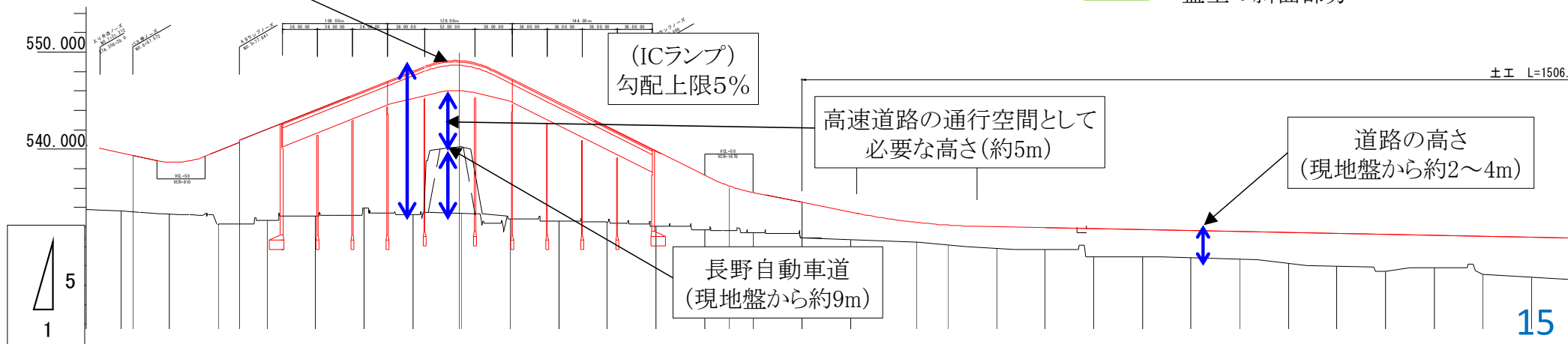
本線～料金所間の道路(ランプ)は
高速道路本線の上を通過
(現地盤から最大約17m)

長野自動車道(本線)
松本・長野方面いずれも
松糸道路から出入可能

市道豊科4038号線
T字交差点

農道・水路の
付け替え

盛土の斜面部分



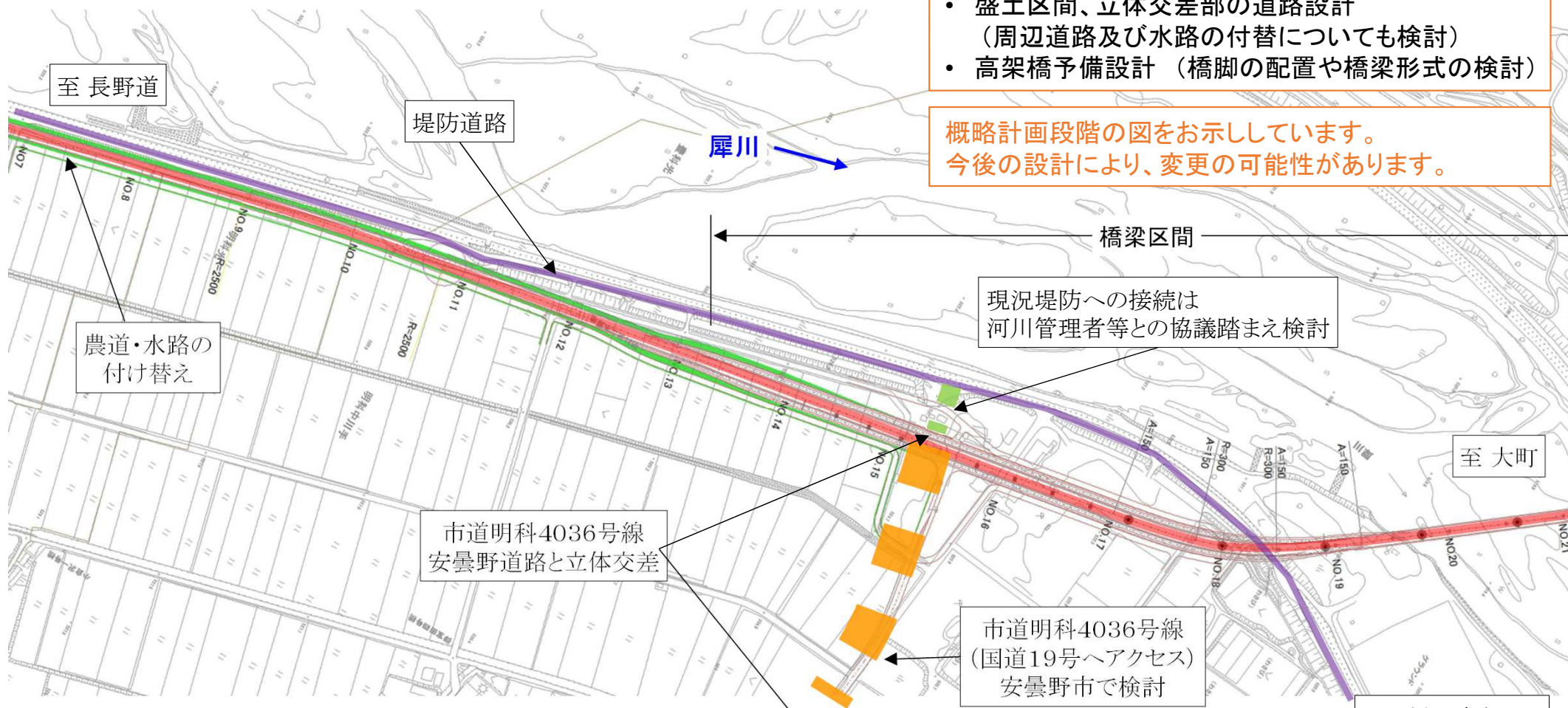
① 安曇野北IC（仮称）及び周辺の計画の進め方

- 計画案を基に、より安全に利用できる構造について、ランプ（本線～料金所）の線形や本線との分岐合流位置等の検討を行っています。
今年度は、上記検討とあわせ、地質調査を実施しながら、ICを構成する橋梁等の構造物や、IC周辺における市道、農道および水路の付け替えについて設計を行っていきます。
- **高速バス停は、現在の明科バス停からICへの移設を計画しています。**
バス利用者駐車場スペースの確保、駐車場へのアクセスなど、利便性が確保されるよう検討していきます。
- このため、**IC周辺の事業範囲については、現在お示ししている計画案から変更となる可能性があります。**計画案ができ次第、ご説明します。

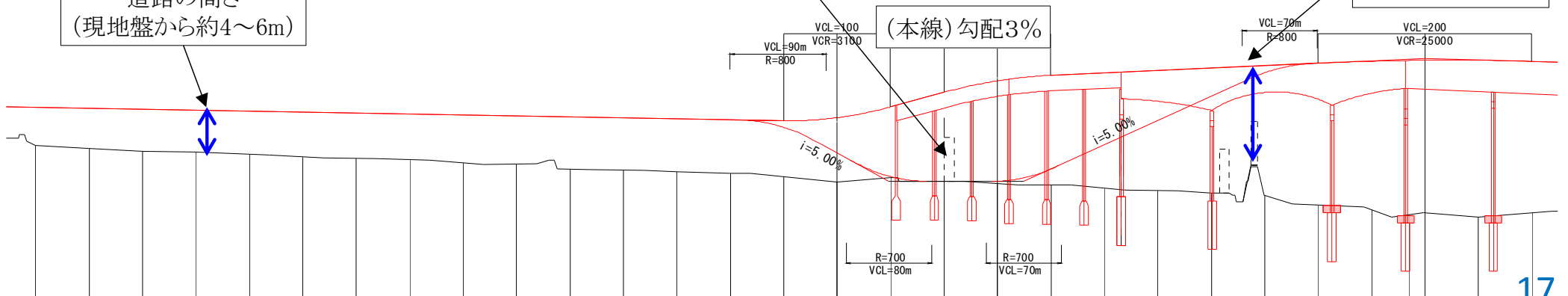
【今年度の予定】

- 測量、地質調査
- 盛土区間、立体交差部の道路設計
(周辺道路及び水路の付替についても検討)
- 高架橋予備設計 (橋脚の配置や橋梁形式の検討)

概略計画段階の図をお示ししています。
今後の設計により、変更の可能性があります。



道路の高さ
(現地盤から約4~6m)



②明科中川手付近の計画の進め方

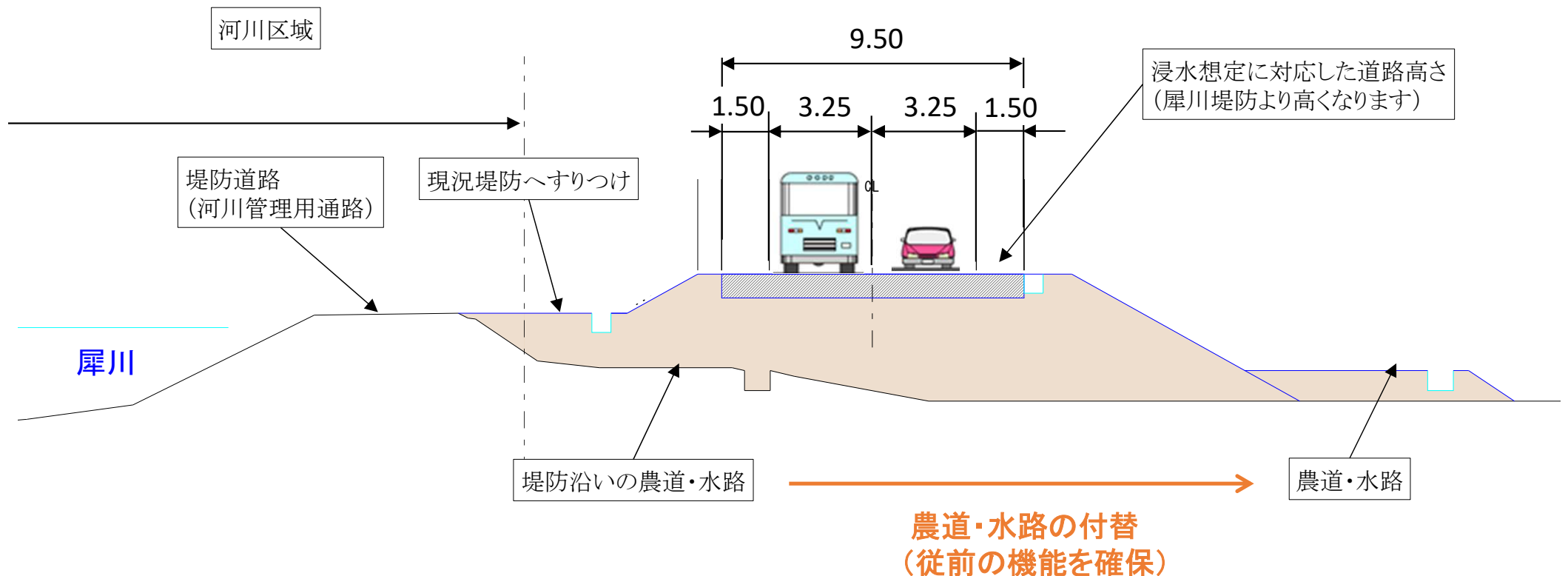
- 今年度は、道路の盛土区間及び市道との立体交差部の基本構造について設計を行います。立体交差部の高架橋については、橋脚の配置や橋梁形式について検討します。
- 堤防沿いの現在の農道や水路は、安曇野道路の農地側への付け替えを計画します。
- 安曇野道路と交差する「市道明科4036号線」は、安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路として安曇野市で整備の計画を立てています。
立体交差部の構造については、安曇野市や警察と協議しながら、安全、円滑な交通が確保されるよう設計します。
- なお、アクセス道路については、工事用道路としての利用も検討し、早期整備に向け県と市で連携して取り組んでいきます。

② 犀川右岸堤防沿いの道路構造の考え方

河川堤防の機能確保、維持管理を考慮しつつ、農地への影響を抑えるよう、河川堤防にできるだけ寄せた構造としています。

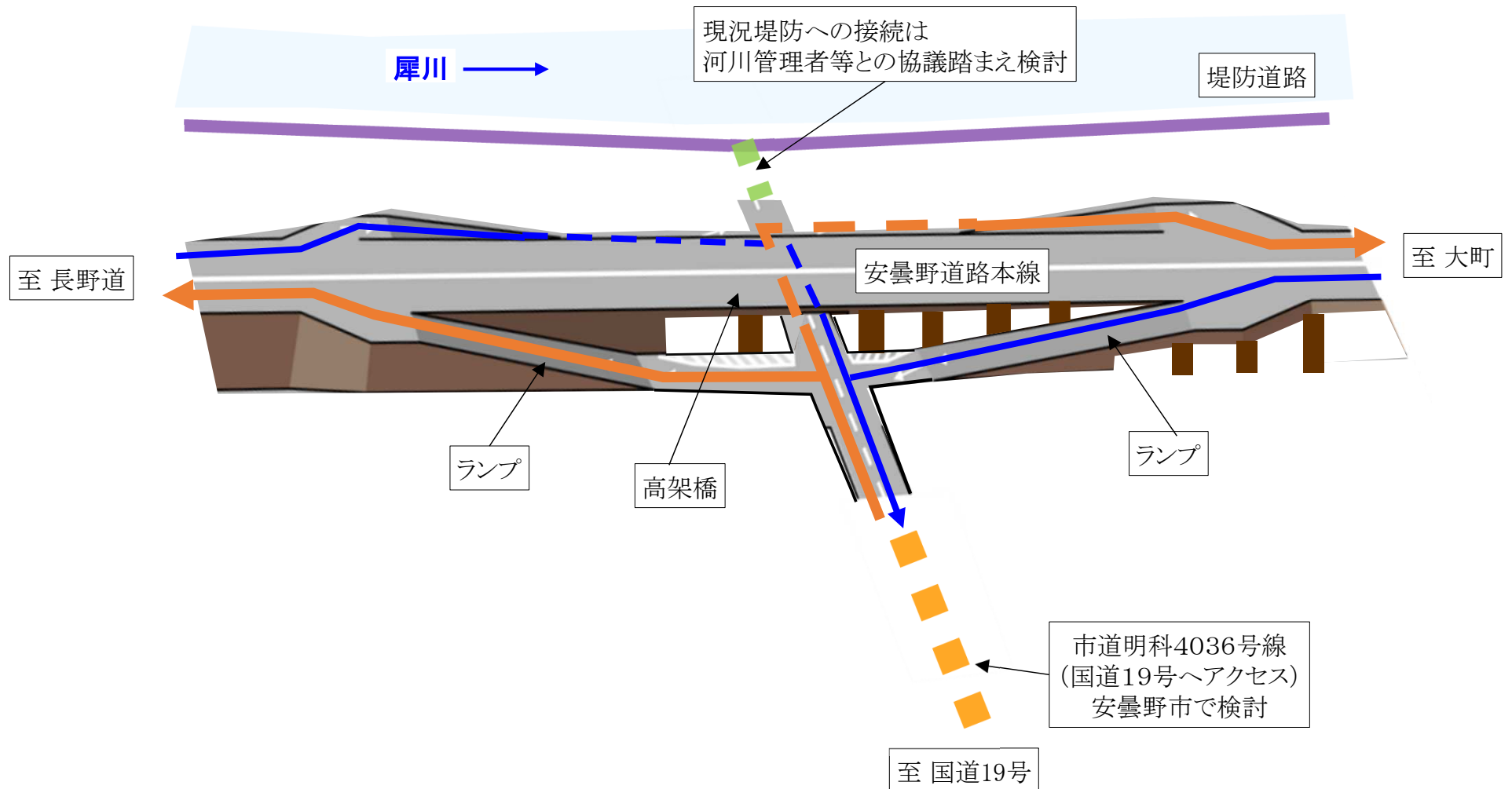
災害発生時における迅速な救援、復旧活動ができるよう、浸水害発生時にできるだけ早期に道路が使用できるような構造とするため、道路の高さは、最大浸水想定を踏まえ計画しています。

堤防沿いの現在の農道や水路は、安曇野道路の農地側に付け替えます。



② 市道4036号線（国道19号アクセス道路）との交差構造

高速道路方面、大町方面いずれも出入りが可能な、**立体交差形式**です。
警察協議および国道19号へのアクセス道路の計画と整合を図りながら設計していきます。



② 市道4036号線（国道19号アクセス道路）との交差構造



至 長野道

至 国道19号

市道明科4036号線
(国道19号へアクセス)
安曇野市で検討

堤防道路

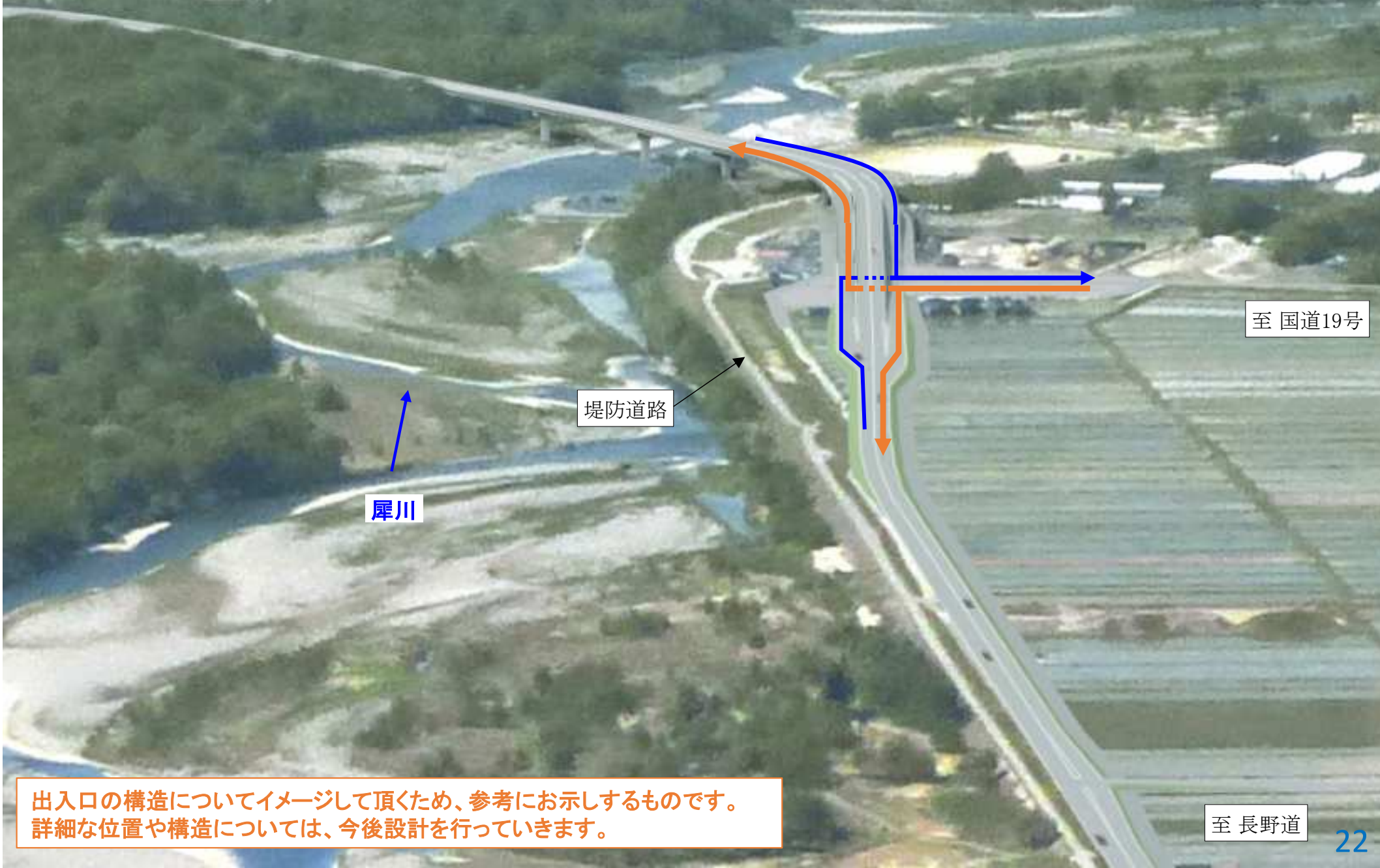
犀川

至 大町

出入口の構造についてイメージして頂くため、参考にお示しするものです。
詳細な位置や構造については、今後設計を行っていきます。

② 市道4036号線（国道19号アクセス道路）との交差構造

至 大町



至 国道19号

堤防道路

犀川

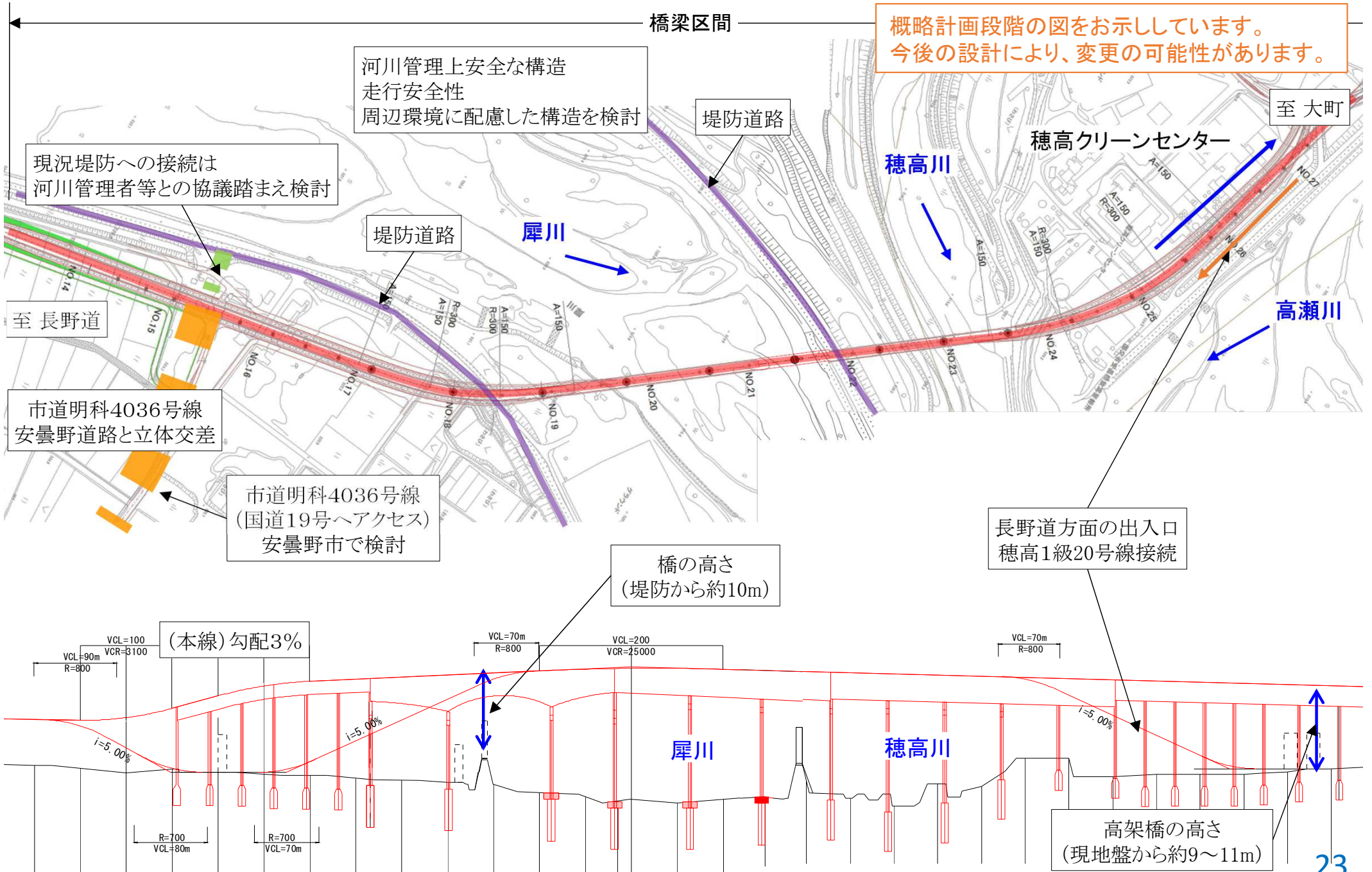
出入口の構造についてイメージして頂くため、参考にお示しするものです。
詳細な位置や構造については、今後設計を行っていきます。

至 長野道

【今年度の予定】

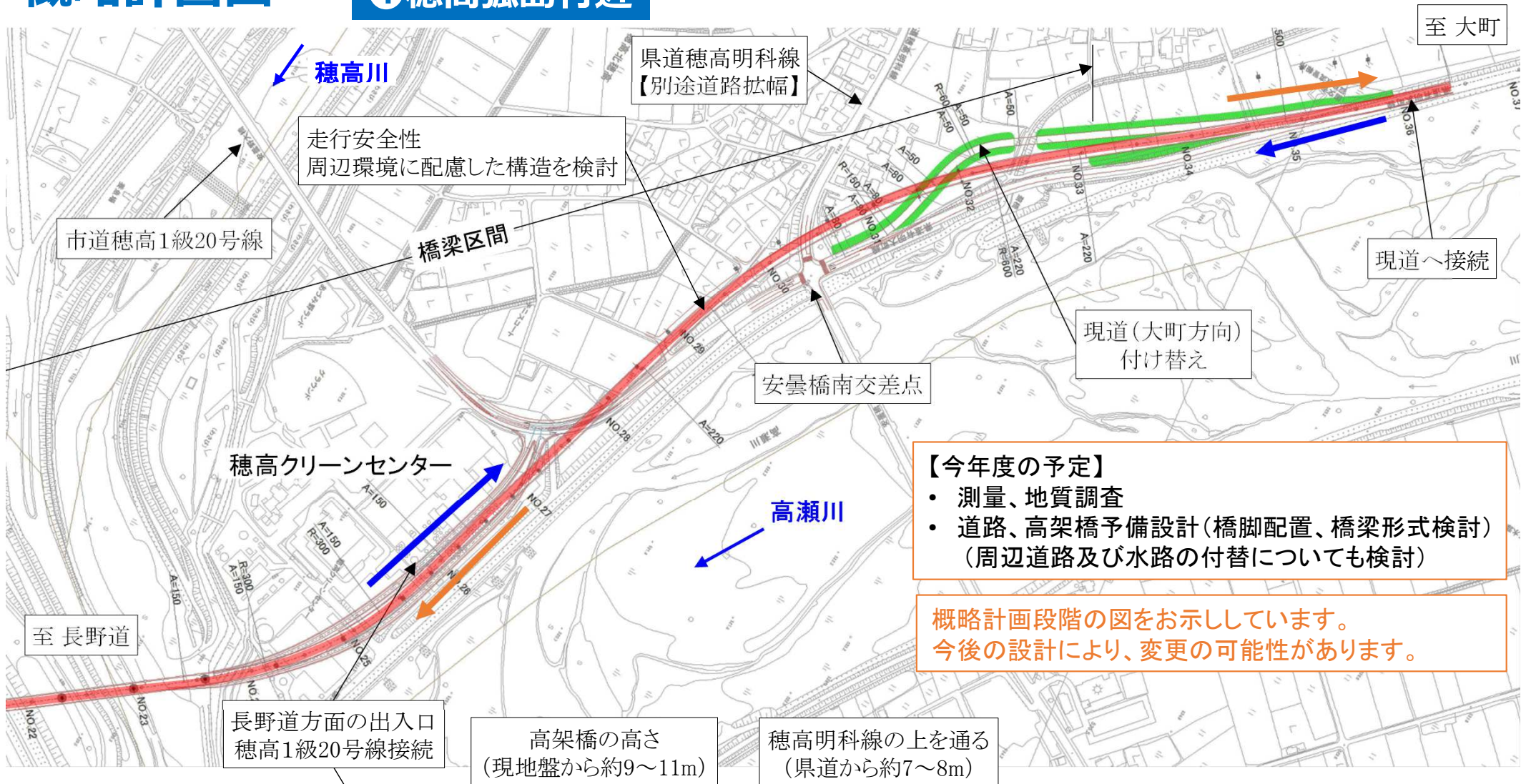
- 地質調査、測量
- 橋梁予備設計(橋脚配置、橋梁形式検討)

概略計画段階の図をお示しています。
今後の設計により、変更の可能性があります。



③ 三川合流部付近の計画の進め方

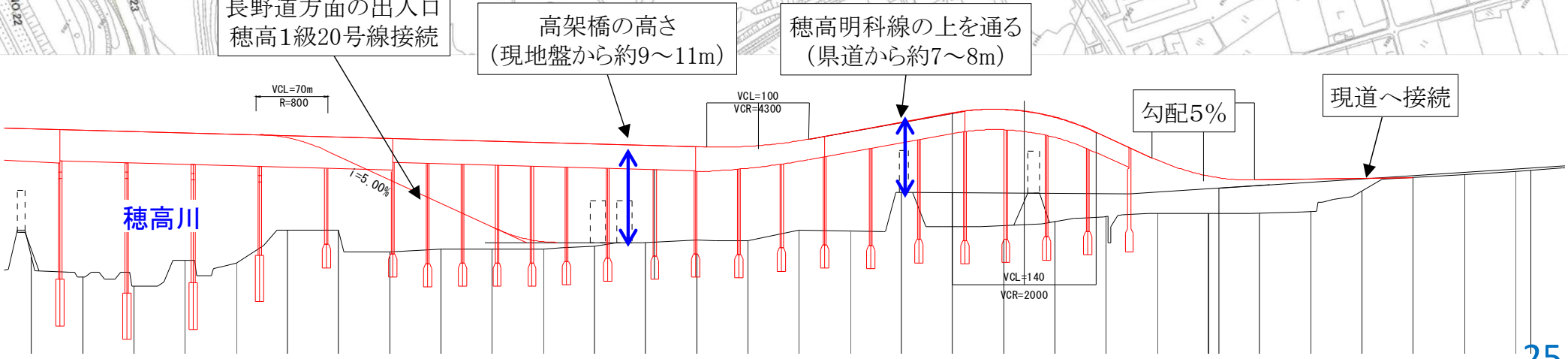
- 今年度は橋脚の配置や橋梁形式の検討(橋梁予備設計)、設計に必要な地質データの取得(地質調査)を実施します。
- 三川合流部への橋の設置について、河川管理者(国)との協議を行いながら、**河川の流れを阻害しないこと**、堤防など**河川管理施設の機能を確保**することなどについて、解析を行うなど十分考慮し設計を進めていきます。
- 橋梁計画地周辺にわさび田があり、地下水の湧出箇所があります。**地下水への影響を回避・低減**できるよう、橋脚設置に伴う河床低下対策について検討します。
また、**地下水の流れに配慮した工事方法**の採用を見据え、構造等を検討していきます。
- 河川内の動植物の生息環境、白鳥飛来地、安曇野を代表とする景観など、**地域特有の環境が形成されていることを踏まえ**、設計を進めていきます。
- 長い橋梁が連続する区間であることから、**冬期の凍結対策など車両の走行安全性が図られるよう**検討していきます。



【今年度の予定】

- 測量、地質調査
- 道路、高架橋予備設計(橋脚配置、橋梁形式検討)
(周辺道路及び水路の付替についても検討)

概略計画段階の図をお示しています。
今後の設計により、変更の可能性があります。

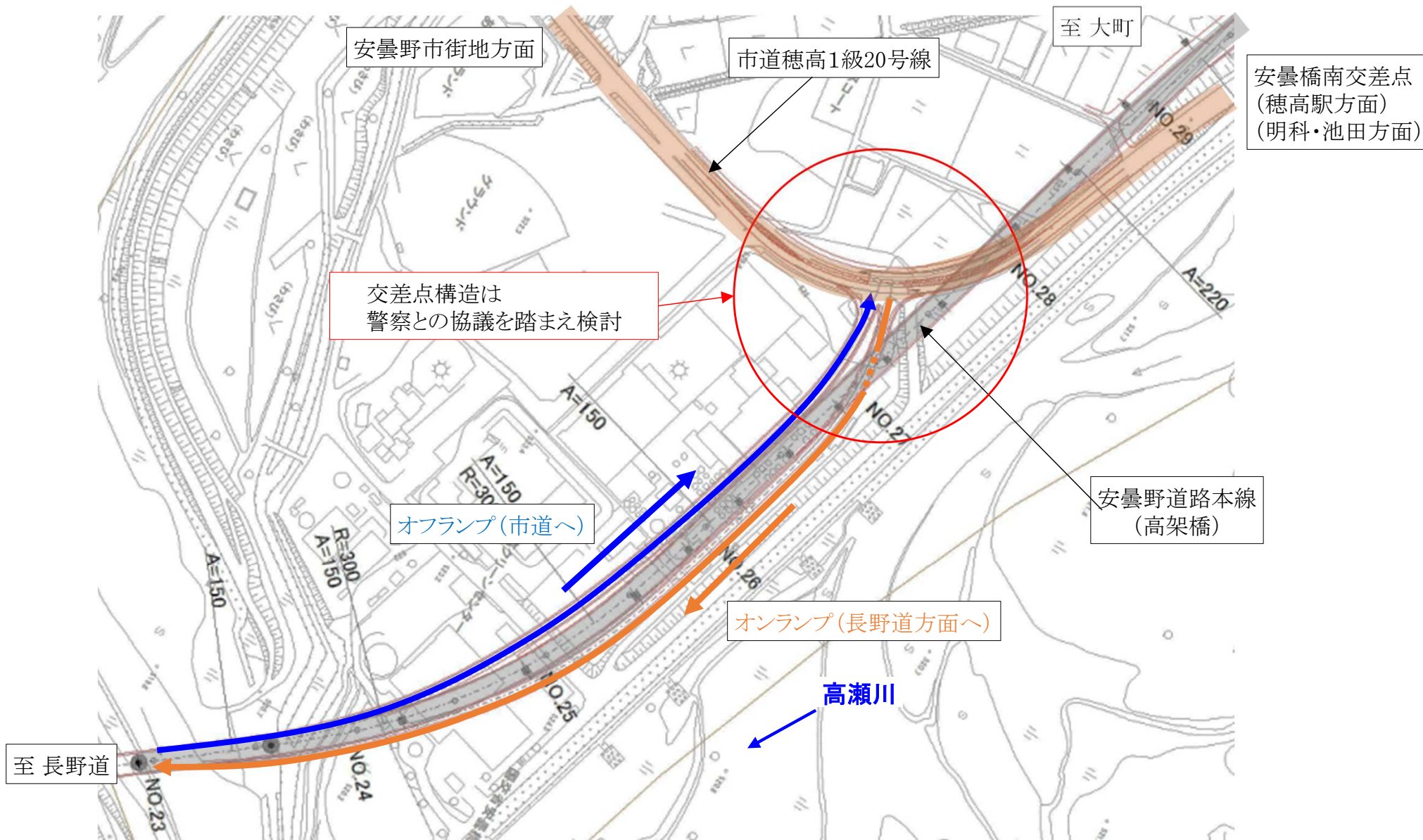


④穂高狐島付近の計画の進め方

- 今年度、市道出入口、高瀬川右岸道路接続部の基本構造の設計を行います。
高架橋については、橋脚の配置や橋梁形式の検討(橋梁予備設計)を行います。
- 道路のルートは、河川堤防の機能確保、維持管理を考慮しつつ、**高瀬川の方へできるだけ寄せた構造**とし、住宅地や農地への影響を極力抑えるようにしています。
高架橋について、高さや橋の見え方など**完成イメージを見て頂く等しながら設計**していきます。
また、騒音や振動など**生活環境への影響について、調査や予測**を行い、影響を回避・低減するための対策を検討し、設計や工事計画に反映させていきます。
- 市道(穂高1級20号線)出入口部、高瀬川右岸道路接続部については、警察と協議を行いながら、安全、円滑な道路構造となるよう設計します。
また、長い橋梁が連続する区間であることから、**冬期の凍結対策など車両の走行安全性が図られるよう検討**します。
- 別途、計画を進めております**県道穂高明科線の拡幅**について、県道と安曇野道路との交差点の計画案は、**安曇野道路と整合を図りながら検討**のうえご説明します。

④市道穂高1級20号線との接続構造

高速道路方面に乗り降り可能な**入口(オンランプ)**、**出口(オフランプ)**を設置します。
ランプと市道との交差点は、安全、円滑な道路構造となるよう、警察と協議を行いながら設計します。



④市道穂高1級20号線との接続構造



至大町

安曇野道路本線
(高架橋)

高瀬川

犀川

オンランプ(長野道方面へ)

至長野道

オフランプ(市道へ)

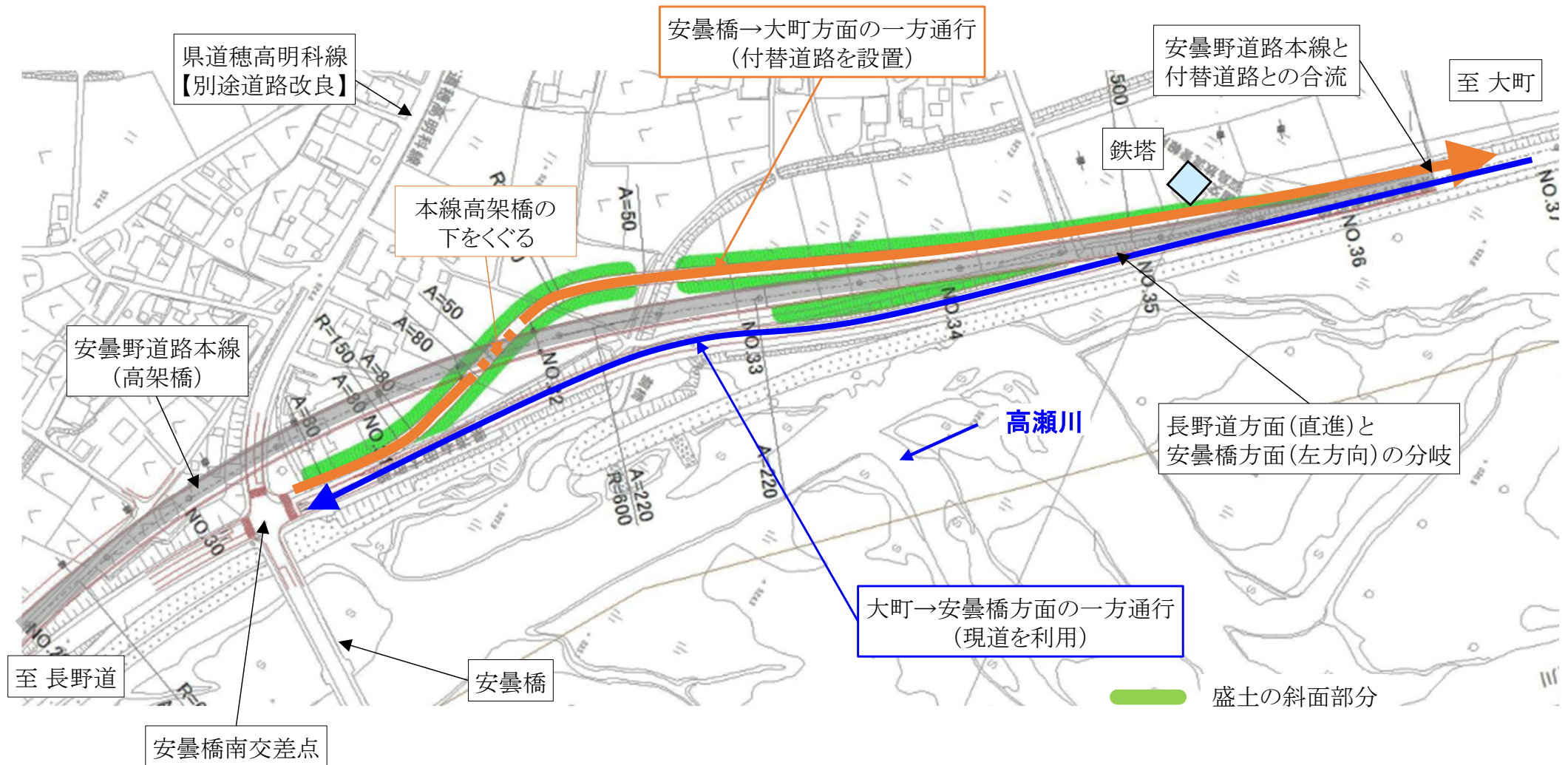
市道穂高1級20号線

出入口の構造についてイメージして頂くため、参考にお示しするものです。
詳細な位置や構造については、今後設計を行っていきます。

安曇野市街地方面

④高瀬川右岸道路との接続構造

大町方面への安曇野道路本線と高瀬川右岸道路を合流方式にするため、
大町→安曇橋方面は、**一方通行**とし、
安曇橋→大町方面は、**付替道路**を設置します。



④高瀬川右岸道路との接続構造



大町→安曇橋方面の一方通行
(現道を利用)

高瀬川

安曇橋

至長野道

至大町

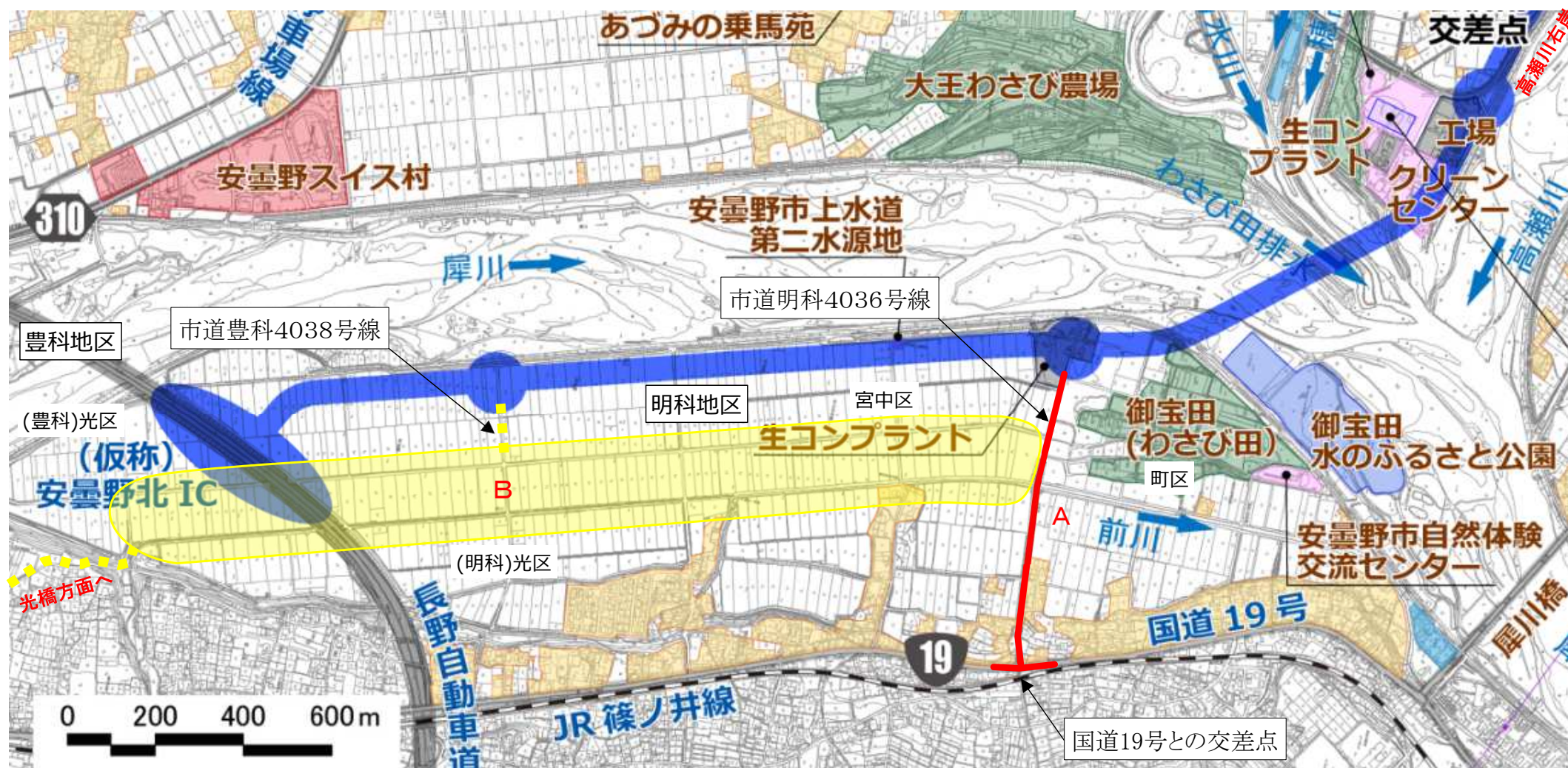
安曇野道路本線

県道穂高明科線

安曇橋→大町方面の一方通行
(付替道路を設置)

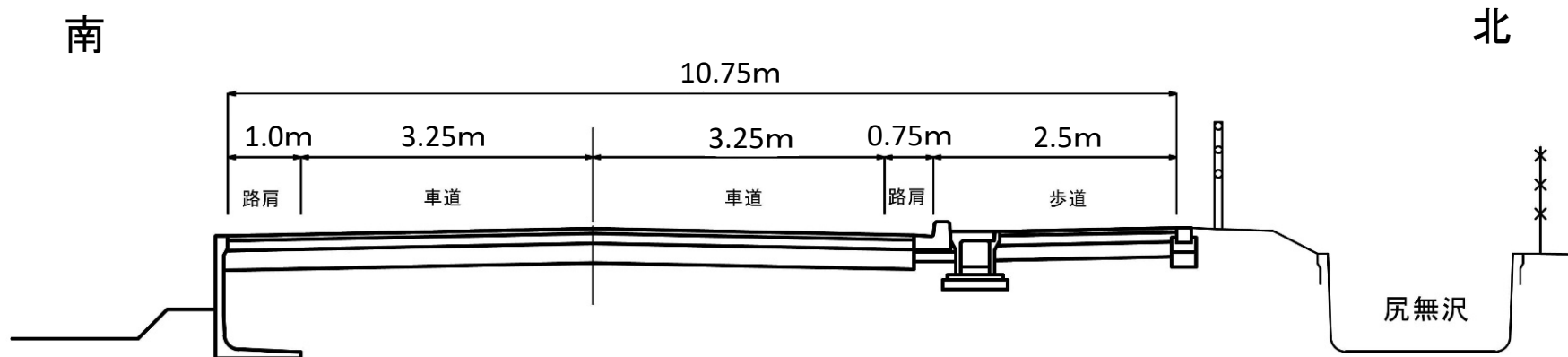
構造についてイメージして頂くため、参考にお示しするものです。
詳細な位置や構造については、今後設計を行っていきます。

アクセス道路計画案 (計画位置)

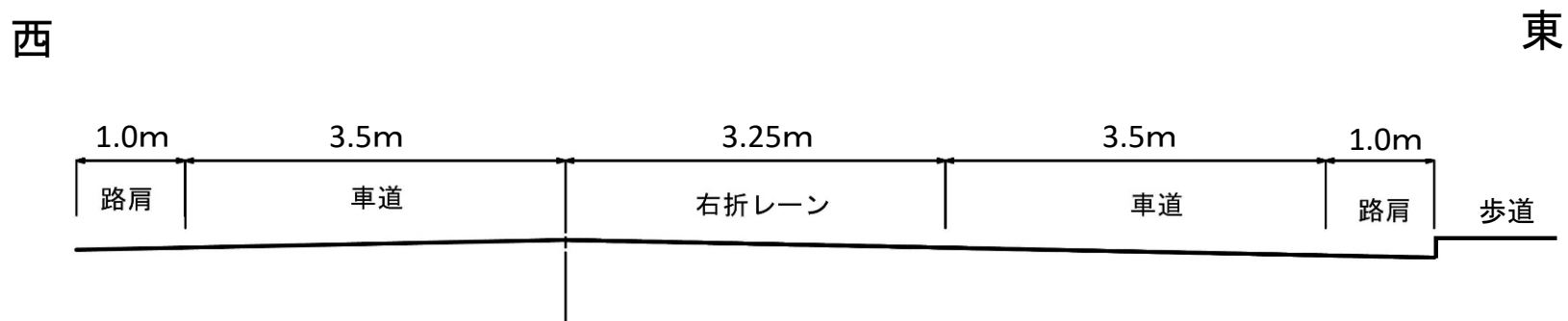


アクセス道路計画案 (A路線 計画幅員)

市道明科4036号線



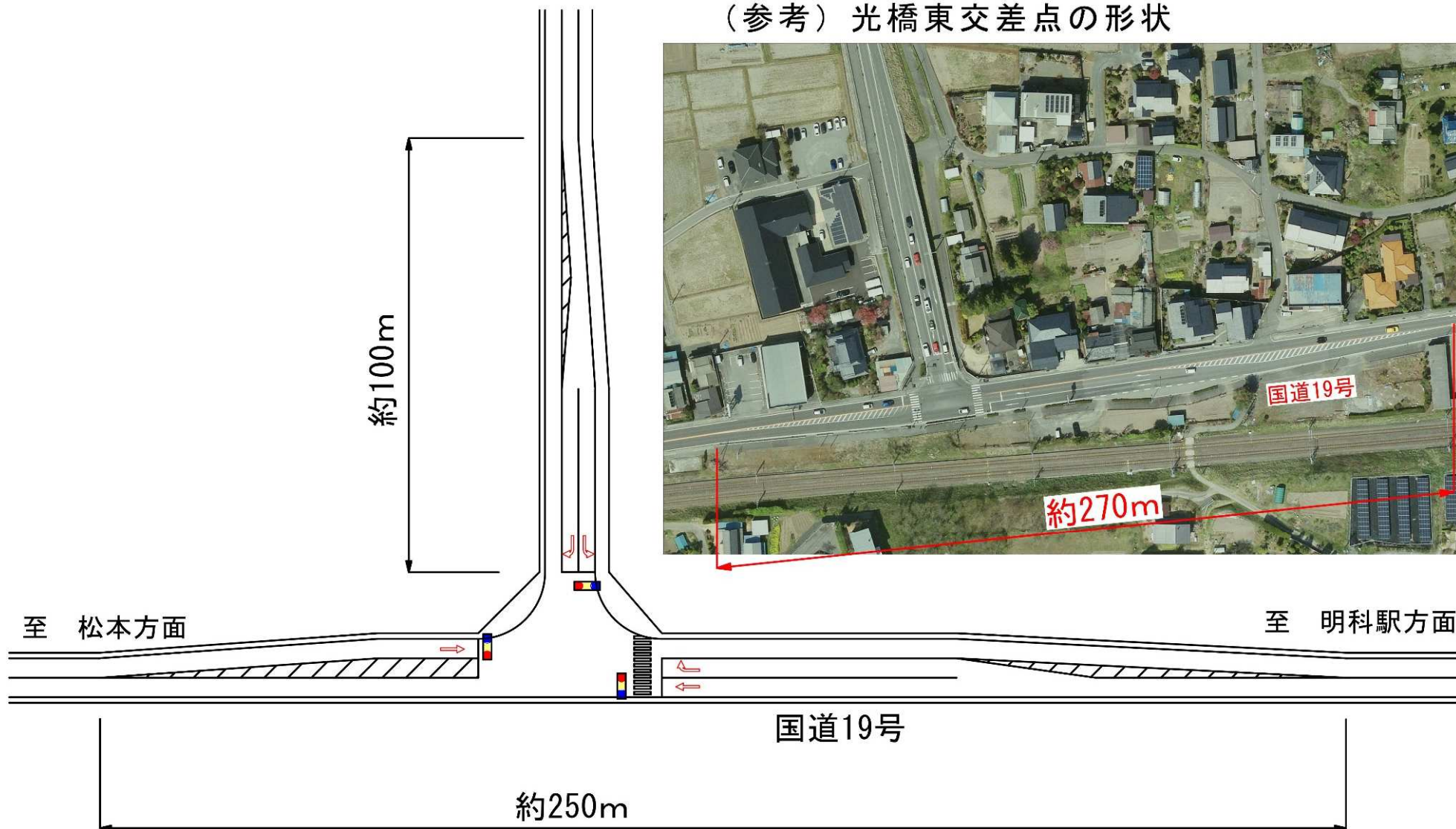
国道19号(交差点部分)



アクセス道路計画案 (A路線 国道19号との接続)

国道19号 新設交差点のイメージ図

(参考) 光橋東交差点の形状



アクセス道路計画の今後の予定

A路線

市道明科4036号線を活用することを基本とし、基本構造について検討していきます。

今年度は、沿線の地形や地物の状況を把握するための地形測量を実施するほか、事業化に向け関係機関との協議等を進めていきます。

基本構造について概ねの案ができましたら、説明会を開催します。

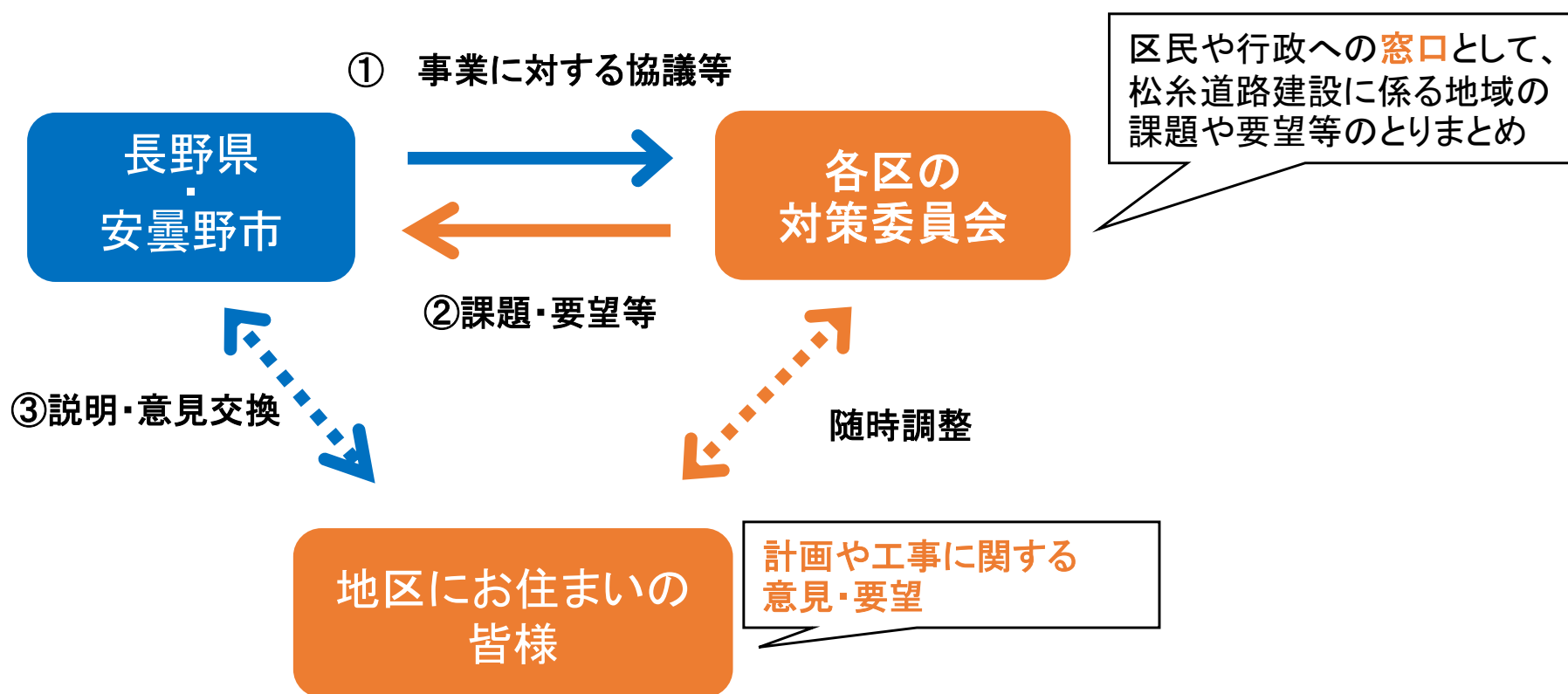
B路線

地域の意見を基に今後検討していく土地利用の方針を踏まえ、安曇野北IC(仮称)の構造、料金所及び高速バス停駐車場などIC関連施設の計画等を考慮しながら、改良路線(区間)や幅員などの基本計画を検討します。

今後の事業の進め方について

大規模な事業で完成までに時間を要することを踏まえ、道路整備に伴う課題について、それぞれの区で継続的に検討をしていただく必要があると考えます。

今後、調査設計、工事を進めていくにあたり、地元の皆さんの生活への配慮、また、道路を地域に活かして頂くことなどについて、区の意見をお聞きしながら進めていきたいと考えています。



お問い合わせ先

○ 長野県安曇野建設事務所 整備課 計画調査係

電話 : 0263-72-8308 (直通)

FAX : 0263-72-8882

E-mail : azumiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp

○ 安曇野市役所 都市建設部 建設整備課

電話 : 0263-71-2330 (直通)

FAX : 0263-72-3569

E-mail : kensetsu@city.azumino.nagano.jp

ホームページにも松糸道路の情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

(安曇野建設事務所ホームページ 松本糸魚川連絡道路)

<https://www.pref.nagano.lg.jp/azumiken/matsuito-doro.html>

安曇野道路

